



# にんじん



発行日：令和7年7月4日

## 1. 卸売価格の動向

○199円/kg (7月1日)

➢ 平年比：121%

○7月の価格見通し

前半はやや平年を上回って推移  
後半は平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

## 2. 小売価格の動向

○434円/kg

(6月13日全国平均)

➢ 前月比：74%、平年比：114%

➢ 東京：217円（3本）

➢ 大阪：187円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：5/20（前月6/20）

➢ 大阪：2/10（前月4/10）  
(機構調べ)

## 3. 家計消費動向

○226g/人 (5月全国平均)

➢ 前月比：113%

➢ 前年同月比：109%

○2,556g/人 (2024年年間)

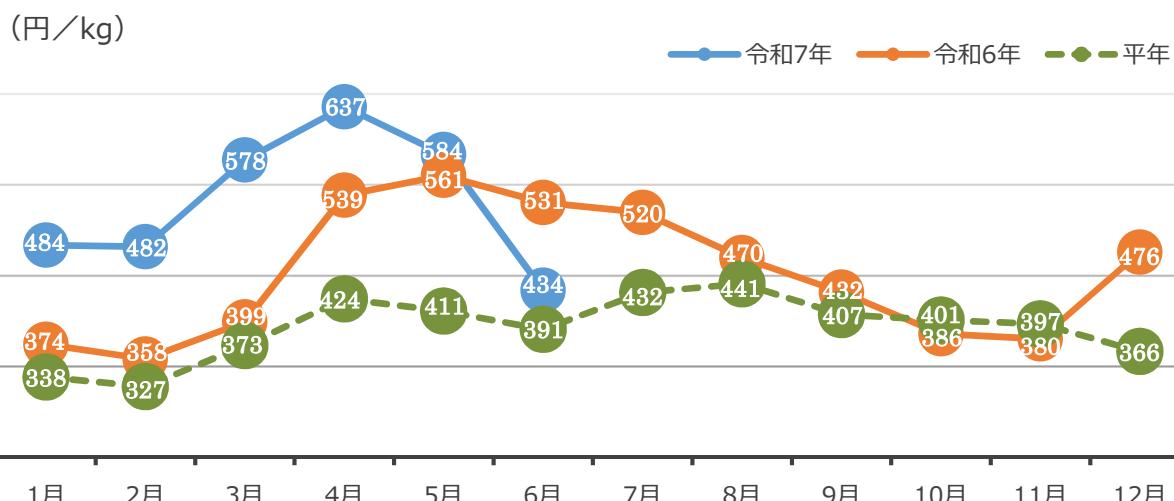
➢ 前年比：97%

(総務省統計局家計調査)

## 4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



## 5. にんじんの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (6/11)	増加	平年並み	平年並み	-
青森県三沢 (6/25)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (4/22)	減少	平年並み	平年並み	早い

※特記ない場合は平年比。 ( ) 内は調査日。

(機構調べ)



北海道富良野：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報（7/5～8/1）

週 別 の 天 候			
7/5～7/11	北・東・西日本では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、熱帯じょう乱や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。		
7/12～7/18	北・東・西日本では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。		
7/19～8/1	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側 低10 並10 高80% <b>高い見込み</b>	少40 並40 多20% <b>平年並か少ない見込み</b>	少10 並30 多60% <b>多い見込み</b>
	太平洋側	少40 並40 多20% <b>平年並か少ない見込み</b>	少10 並30 多60% <b>多い見込み</b>
東日本	日本海側 低10 並10 高80% <b>高い見込み</b>	少50 並30 多20% <b>少ない見込み</b>	少10 並30 多60% <b>多い見込み</b>
	太平洋側	少40 並40 多20% <b>平年並か少ない見込み</b>	少10 並30 多60% <b>多い見込み</b>
西日本	日本海側 低10 並10 高80% <b>高い見込み</b>	少50 並30 多20% <b>少ない見込み</b>	少10 並30 多60% <b>多い見込み</b>
	太平洋側	少40 並40 多20% <b>平年並か少ない見込み</b>	少10 並30 多60% <b>多い見込み</b>

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向（生鮮にんじん）

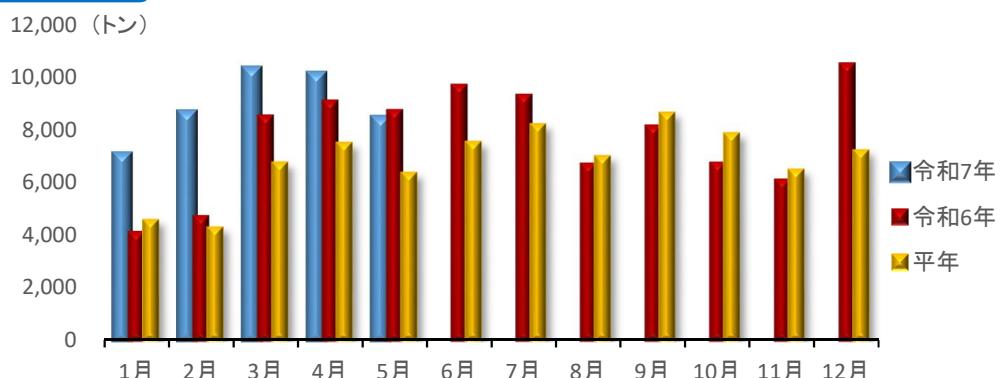
○8,412トン（5月輸入量）

➤ 前年同月比：96%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 8,045トン
- 2位 豪州 257トン
- 3位 台湾 96トン

（財務省貿易統計）



## 9. 一口メモ

6月は、主力の千葉産は播種時期の干ばつの影響で数量が伸びないまま上旬でピーク終了。後半は収穫作業の遅れや気温上昇による傷みからロスも多く、月間では高値基調で推移した。

7月は、青森産・北海道産へと切り替わるが3～4月の低温により出荷がやや遅れている。数量は、前半はやや平年を下回り、後半は平年並み、価格は、前半はやや平年を上回り、後半は平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793